

▲口でもしっかり発音します



▲最年少の受講者は木場小の遠辺由紀さん

「こんなに受講者が多いとは予想外でした」と言いながらも顔は笑っている(社)社会福祉協議会の笹川権蔵さん。黒埼町社会福祉協議会では新潟ろうあ協会の協力で六月から十二月までの毎週水曜日手話講習会を始めました。現在、町には耳のほとんど聞こえない聴覚障害者(2級)が三十四人、県全体では二千六百人ほどいますが、手話のできる人は少ないのです。受講者は女性が多く、「ボランティア活動のために」「職場や家庭、親戚にどうあそびがあるので」「などが受講の主な理由。十二月ごろには口寄せ話ができるくらいにはなっているそうです。

だく音が難しい



講師の
西川良央さん
(新潟ろうあ協会)

わたし自身が耳が不自由です。で、八年前に覚えましたが、日常生活にはあまり不便はしません。

難しい言葉は濁音で、例えばたまごとタバコの違いですね。

一通り覚えるには一年間かかると思います。三年ぐらいで完全にマスターできます。(※手話でインタビュー)

まずイロハから

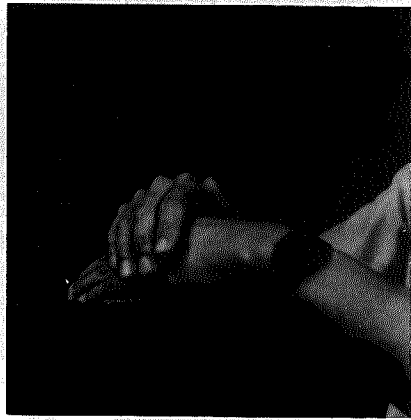


受講生の
大竹チエさん
(興野2区)

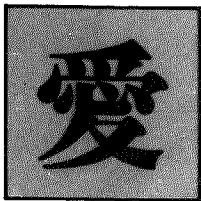
ずっと前からやってみたくったので、この機会にと思いチャレンジしてみました。近所の人も誘ってね。

もちろん、初めてなんです。がようやくイロハを覚えたとこです。

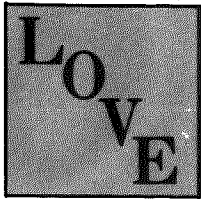
家でも子供を相手に練習しています。覚えられたら、障害者のためにボランティア活動などやってみたいです。



は



英語で



手話はうの葉です。

手話講習会予想外の大盛況



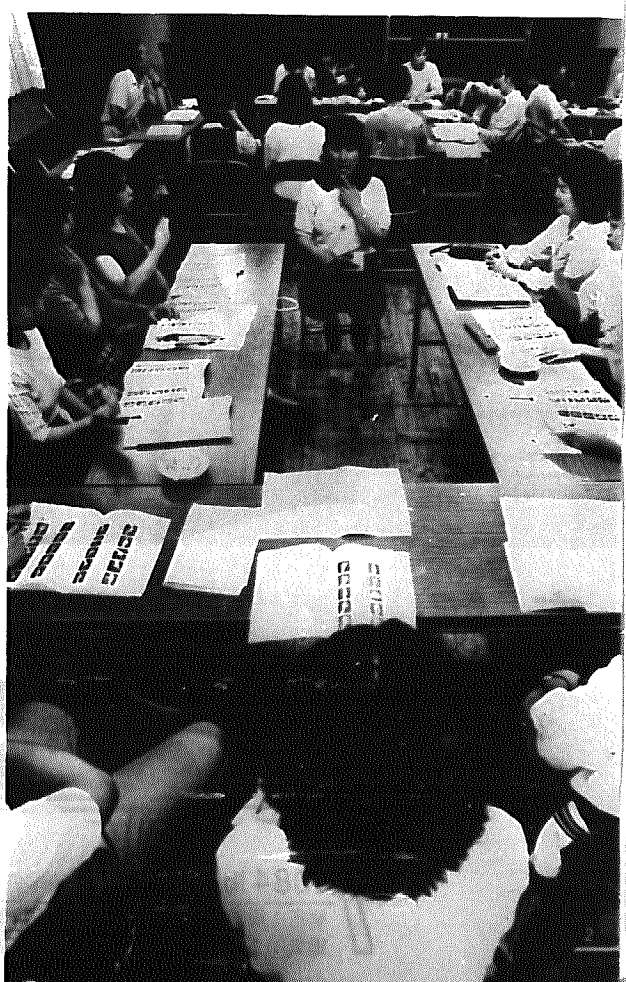
▲まず笑顔で触れ合いを



▲撮影日の6月20日には34人が出席



▲手話に大切なのは目です。目は口ほどに物を言うのです



▲グループで学習